

軽微変更説明書

年 月 日

申請に係る建築物の建築物エネルギー消費性能確保計画について、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律施行規則第5条に該当する軽微な変更がありましたので、変更の内容を報告します。

(1) 建築物等の名称	
(2) 建築物等の所在地	
(3) 適合判定通知書又は軽微変更該当証明書番号	
(4) 適合判定通知書又は軽微変更該当証明書交付年月日	
(5) 変更の内容 ☐ A：省エネ性能が向上する変更 ☐ B：一定範囲内の省エネ性能が減少する変更 ☐ C：再計算によって基準適合が明らかな変更（計画の根本的な変更を除く）	
(注意) (5) 変更の内容において、Aにチェックした場合には第二面に、Bにチェックした場合は第三面に必要事項を記入した上で、変更内容を説明するための図書を添付してください。Cにチェックした場合には再計算に要した図書を添付してください。	

(第二面)

【A：省エネ性能が向上する変更】

・変更となる事項
☐建築物高さもしくは外周長の減少 ☐外壁、屋根又は外気に接する床の面積の減少 ☐空気調和設備等の効率の向上又は損失の低下となる変更（制御方法等の変更を含む） ☐エネルギーの効率的利用を図ることのできる設備の新設又は増設 ☐その他（ ）
・上記☐チェックについて具体的な変更内容の記載欄
・添付図書等
(注意) 変更となる事項すべてにチェックをし、その事項については、具体的な変更内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。

(第三面)

【B： 一定範囲内の省エネ性能が減少する変更】

・変更前の $BEI = (\quad) \leq (\quad)$

注意：右の()には基準 $BEI \times 0.9$ を記入すること

・変更となる設備の概要

☐ 空気調和設備

変更内容記入欄

☐ 機械換気設備

変更内容記入欄

☐ 照明設備

変更内容記入欄

☐ 給湯設備

変更内容記入欄

☐ 太陽光発電

変更内容記入欄

・添付図書等

(注意) 変更となる設備すべてにチェックをし、その設備については変更内容記入欄に概要を、第三面別紙に必要事項を記入した上で、変更内容を示す図書を添付してください。

(第三面別紙)

【空気調和設備関係】

次に掲げる (い)、(ろ) のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。
(い)外壁の平均熱貫流率について 5%を超えない増加 かつ窓の平均熱貫流率について 5%を超えない増加
外壁の平均熱貫流率について 5%を超えない増加の確認
変更内容 ☐ 断熱材種類 ☐ 断熱材厚み 変更する方位 ☐ 全方位 ☐ 一部方位のみ (方位) 変更前・変更後の平均熱貫流率 変更前 () 変更後 () 増加率 () %
窓の平均熱貫流率について 5%を超えない増加
変更内容 ☐ ガラス種類 ☐ ブラインドの有無 変更する方位 ☐ 全方位 ☐ 一部方位のみ (方位) 変更前・変更後の平均熱貫流率 変更前 () 変更後 () 増加率 () %
(ろ)熱源機器の平均効率について 10%を超えない低下
平均熱源効率 (冷房平均 COP)
変更内容 ☐ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の平均熱源効率 変更前 () 変更後 () 減少率 () %
平均熱源効率 (暖房平均 COP)
変更内容 ☐ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の平均熱源効率 変更前 () 変更後 () 減少率 () %

【機械換気設備関係】

評価の対象になる室の用途毎につき、次に掲げる (い)、(ろ) のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。
(い)送風機の電動機出力について 10%を超えない増加
室用途 () 変更内容 ☐ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の送風機の電動機出力 変更前 () 変更後 () 増加率 () %
室用途 () 変更内容 ☐ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の送風機の電動機出力 変更前 () 変更後 () 増加率 () %
(ろ)計算対象床面積について 5%を超えない増加 (室用途が「駐車場」「厨房」である場合のみ)
室用途 (駐車場) 変更前・変更後の床面積 変更前 () 変更後 () 増加率 () %
室用途 (厨房) 変更前・変更後の床面積 変更前 () 変更後 () 増加率 () %

【照明設備関係】

評価の対象になる室の用途毎につき、次に掲げる（い）に該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。
(い)単位面積あたりの照明器具の消費電力について 10%を超えない増加
室用途（ ） 変更内容 ☐ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力 変更前（ ） 変更後（ ） 増加率（ ） %
室用途（ ） 変更内容 ☐ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力 変更前（ ） 変更後（ ） 増加率（ ） %

【給湯設備関係】

評価の対象になる湯の使用用途毎につき、次に掲げる（い）に該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。
(い)給湯機器の平均効率について 10%を超えない低下
湯の使用用途（ ） 変更内容 ☐ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の平均効率 変更前（ ） 変更後（ ） 減少率（ ） %
湯の使用用途（ ） 変更内容 ☐ 機器の仕様変更 ☐ 台数の増減 変更前・変更後の平均効率 変更前（ ） 変更後（ ） 減少率（ ） %

【太陽光発電関係】

次に掲げる（い）、（ろ）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。
(い)太陽電池アレイのシステム容量について 2%を超えない減少
変更前・変更後の太陽電池アレイのシステム容量 変更前 システム容量の合計値（ ） 変更後 システム容量の合計値（ ） 変更前・変更後のシステム容量減少率（ ） %
(ろ)パネル方位角について 30 度を超えない変更かつ傾斜角について 10 度を超えない変更
パネル番号（ ） パネル方位角 ☐ 30 度を超えない変更（ ）度変更 パネル傾斜角 ☐ 10 度を超えない変更（ ）度変更
パネル番号（ ） パネル方位角 ☐ 30 度を超えない変更（ ）度変更 パネル傾斜角 ☐ 10 度を超えない変更（ ）度変更